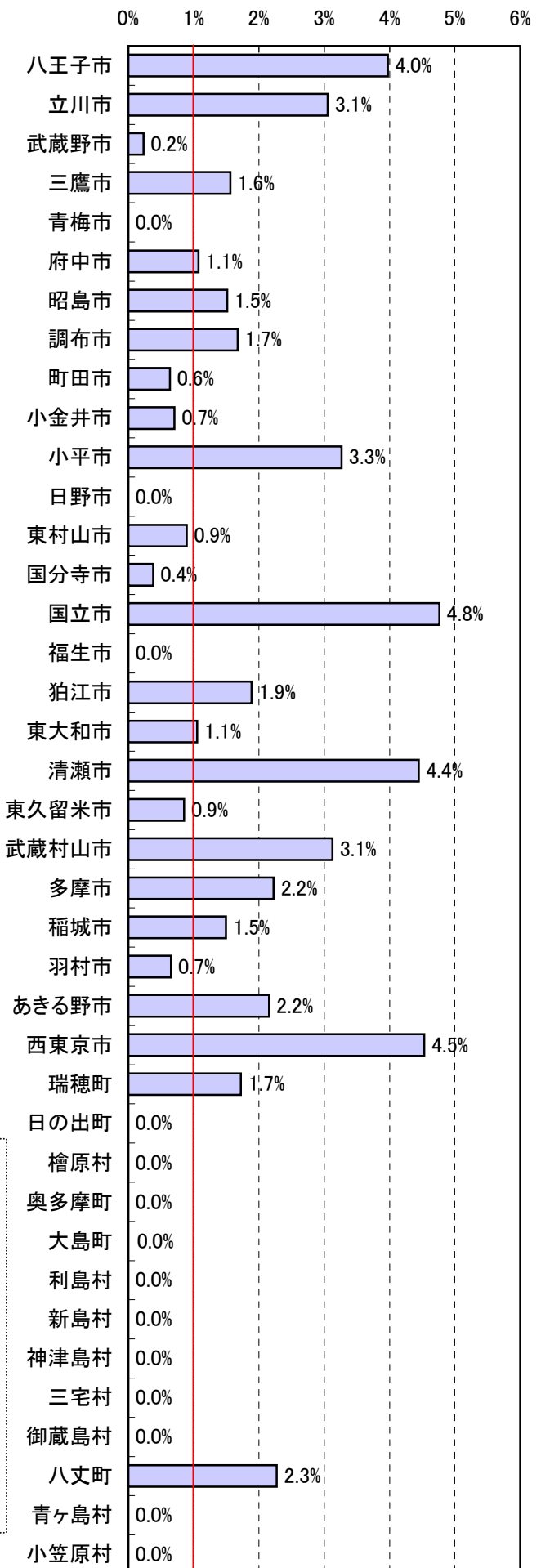
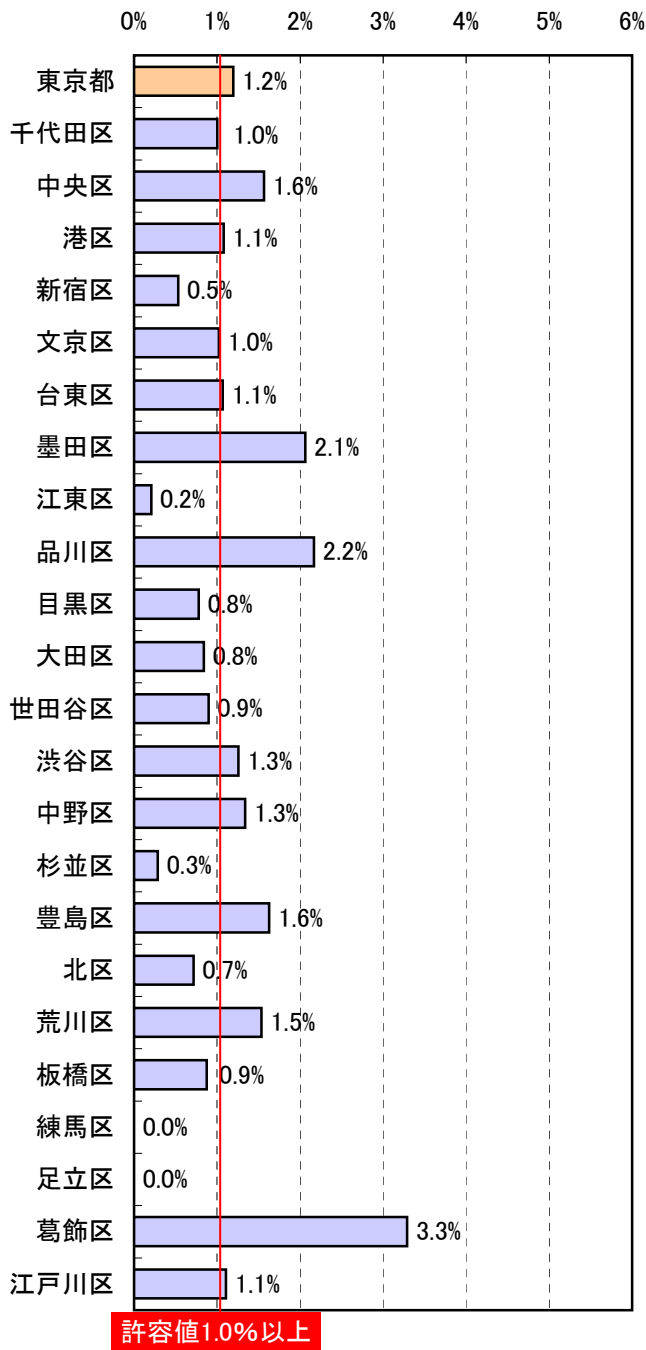


胃がん検診 陽性反応適中度(平成22年度, 男女計)

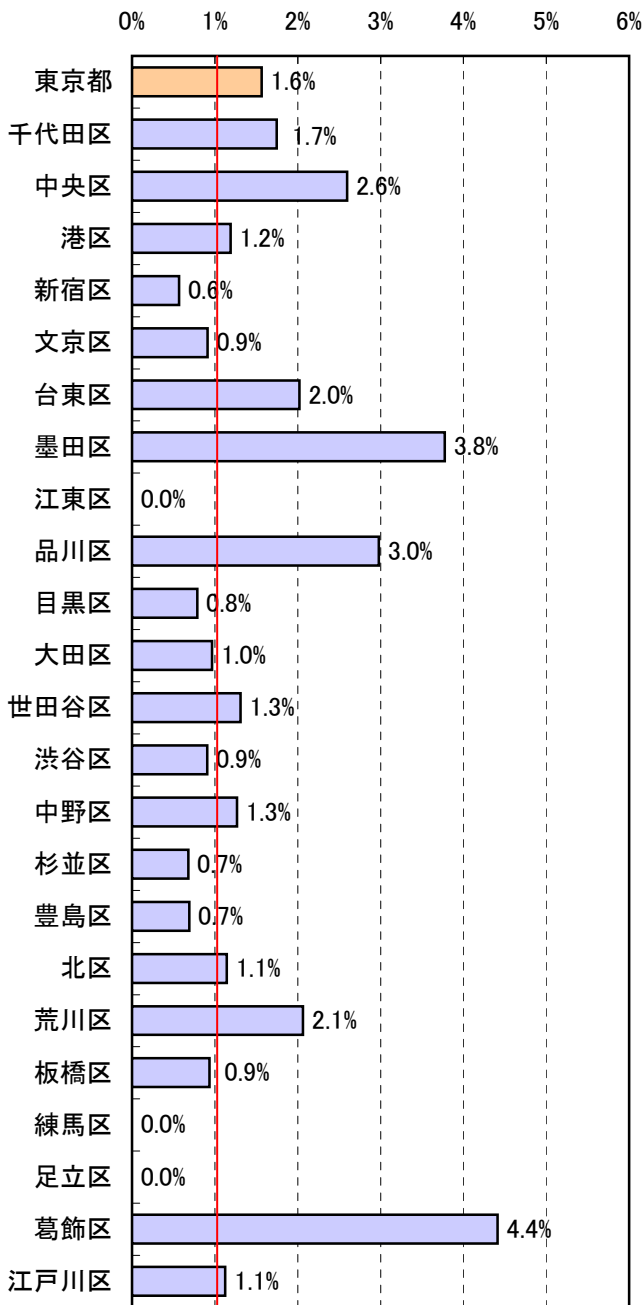


陽性反応適中度 (%)  
= がんであった者 / 要精検者数

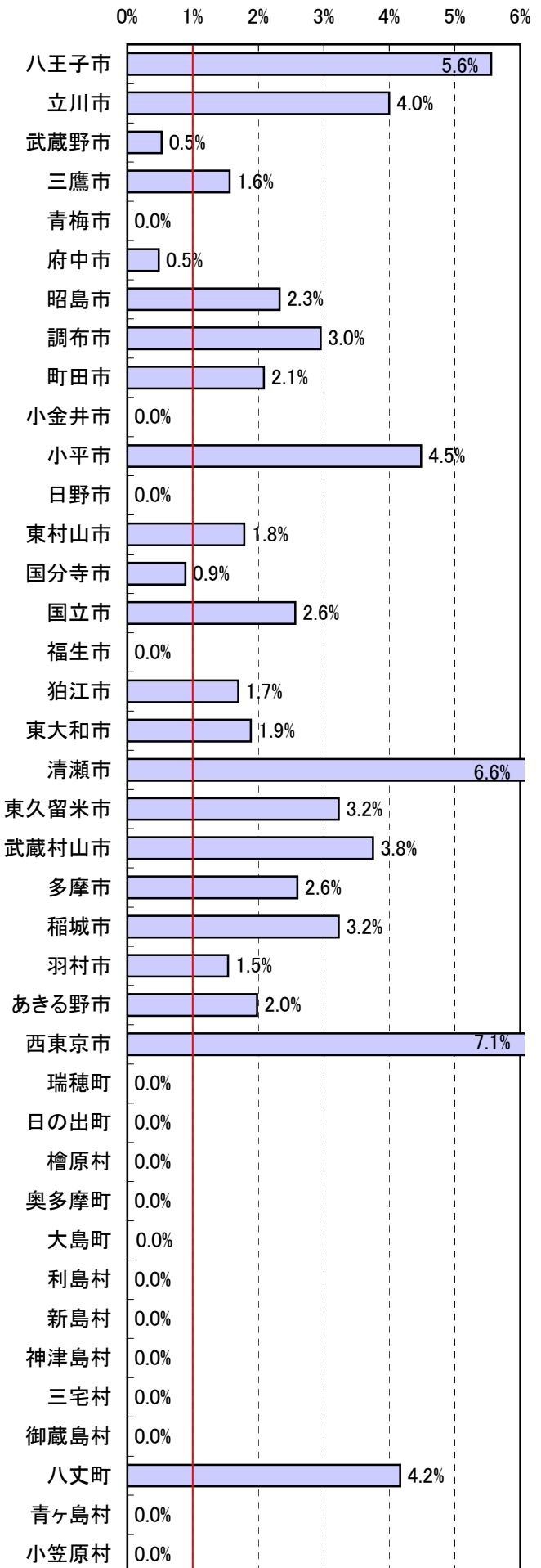
許容値1.0%以上: 国が示す最低限の基準  
→ 精度管理の優良な地域70パーセンタイル  
(優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

この表で示す値は、各自治体が報告するデータを国がまとめて公表しているものです。がんであった者の数(分子)の定義等は自治体間で異なる可能性があります。

胃がん検診 陽性反応適中度(平成22年度, 男性)



許容値1.0%以上

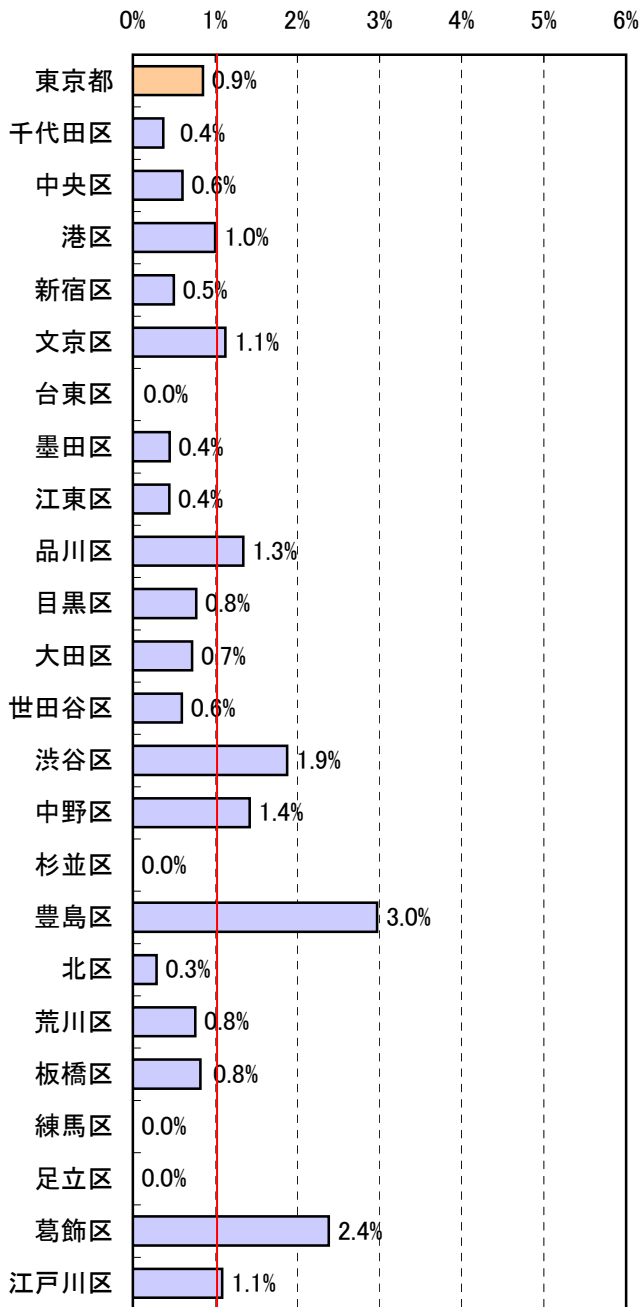


陽性反応適中度(%)  
= がんであった者 / 要精検者数

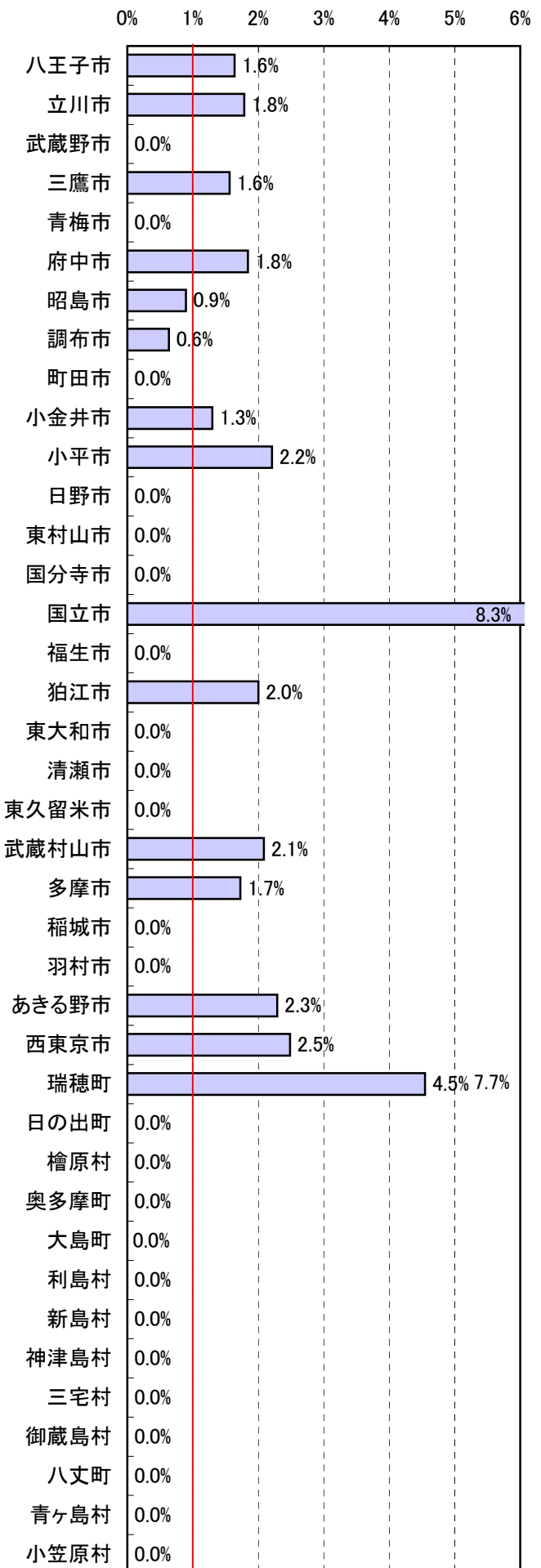
許容値1.0%以上: 国が示す最低限の基準  
→ 精度管理の優良な地域70パーセンタイル  
(優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

この表で示す値は、各自治体が報告するデータを国がまとめて公表しているものです。がんであった者の数(分子)の定義等は自治体間で異なる可能性があります。

# 胃がん検診 陽性反応適中度(平成22年度, 女性)



許容値1.0%以上



陽性反応適中度(%)

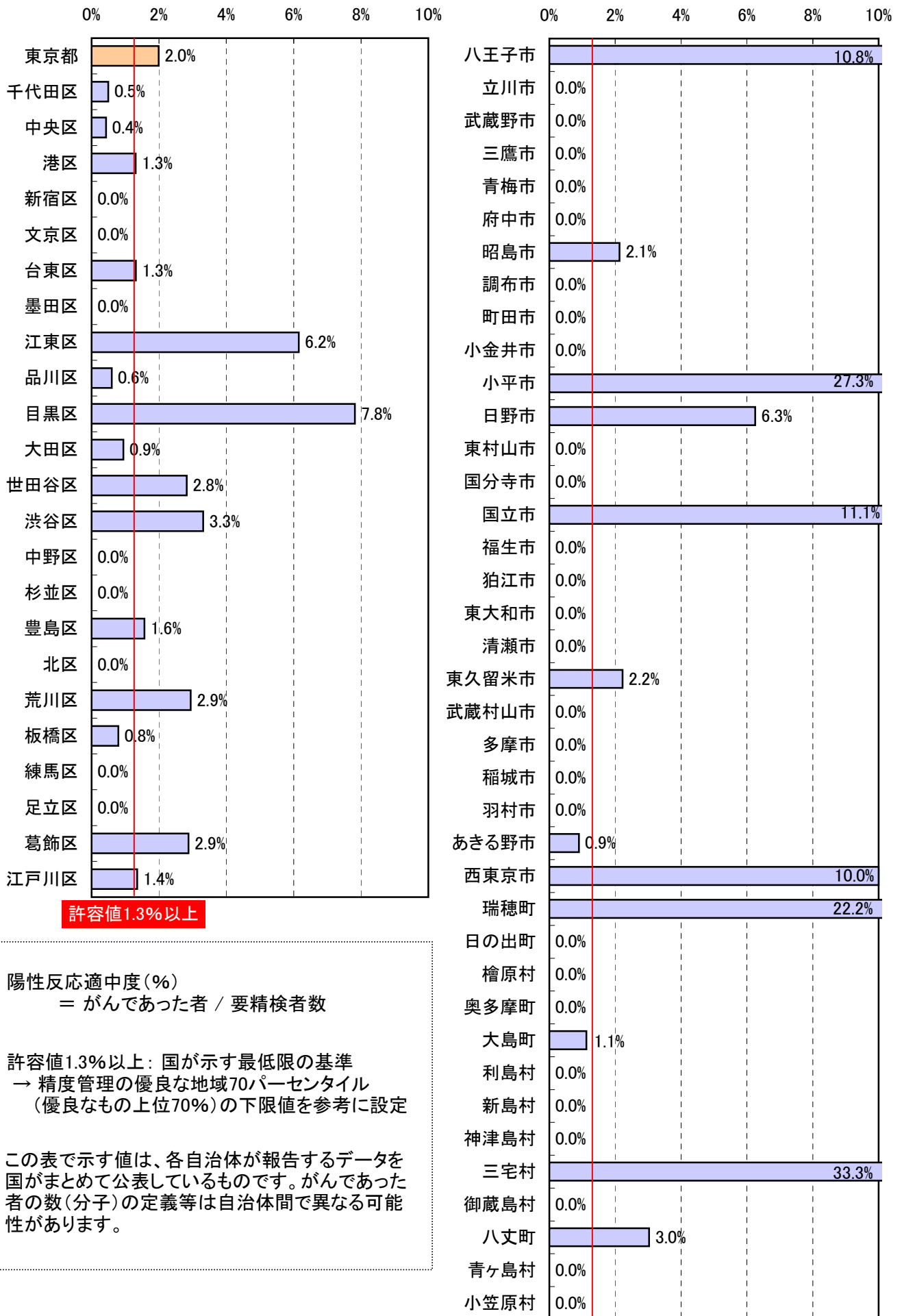
= がんであった者 / 要精検者数

許容値1.0%以上: 国が示す最低限の基準

→ 精度管理の優良な地域70パーセンタイル  
(優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

この表で示す値は、各自治体が報告するデータを国がまとめて公表しているものです。がんであった者の数(分子)の定義等は自治体間で異なる可能性があります。

肺がん検診 陽性反応適中度(平成22年度, 男女計)



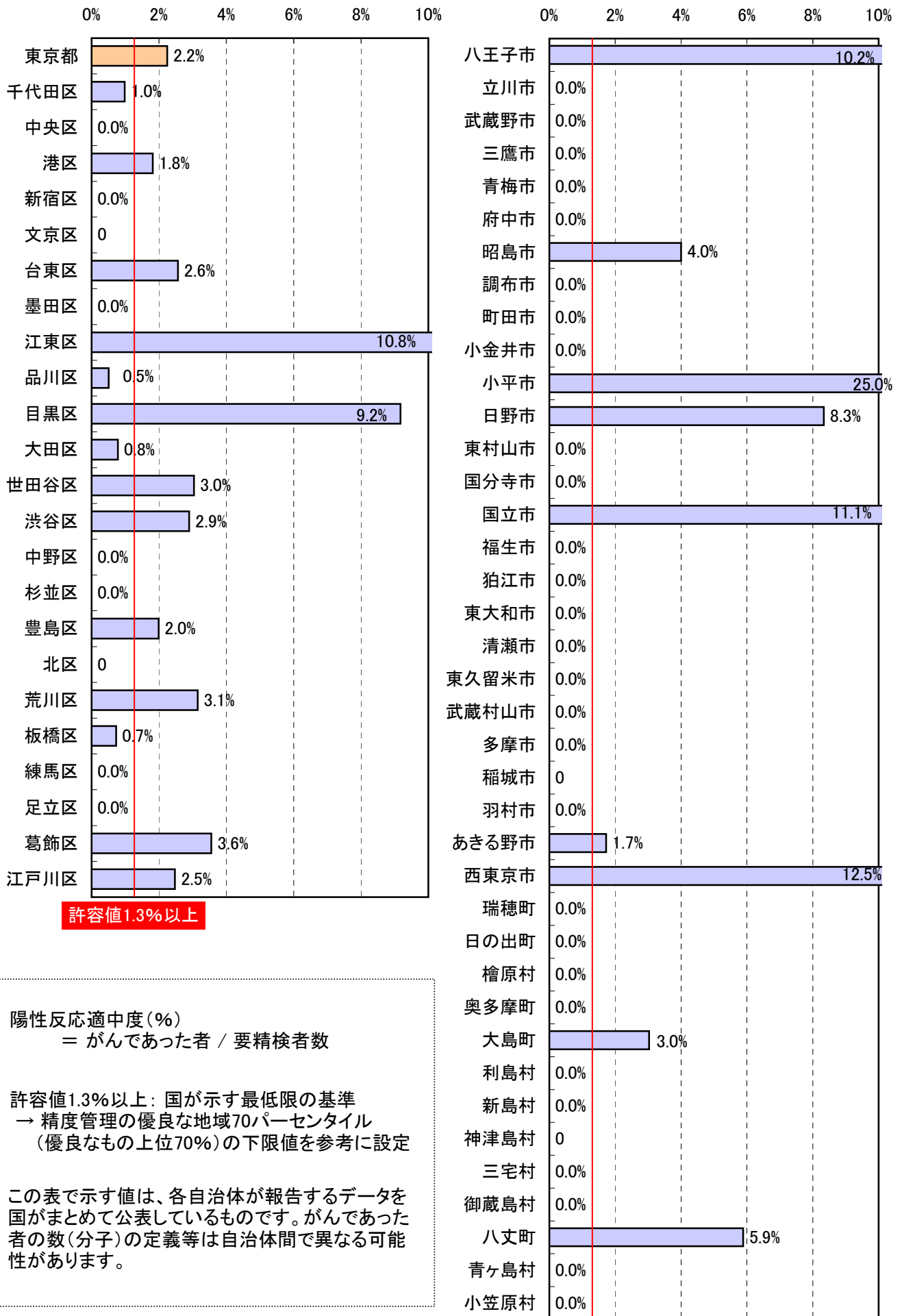
許容値1.3%以上

陽性反応適中度(%)  
 = がんであった者 / 要精検者数

許容値1.3%以上: 国が示す最低限の基準  
 → 精度管理の優良な地域70パーセント  
 (優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

この表で示す値は、各自治体が報告するデータを国がまとめて公表しているものです。がんであった者の数(分子)の定義等は自治体間で異なる可能性があります。

肺がん検診 陽性反応適中度(平成22年度, 男性)



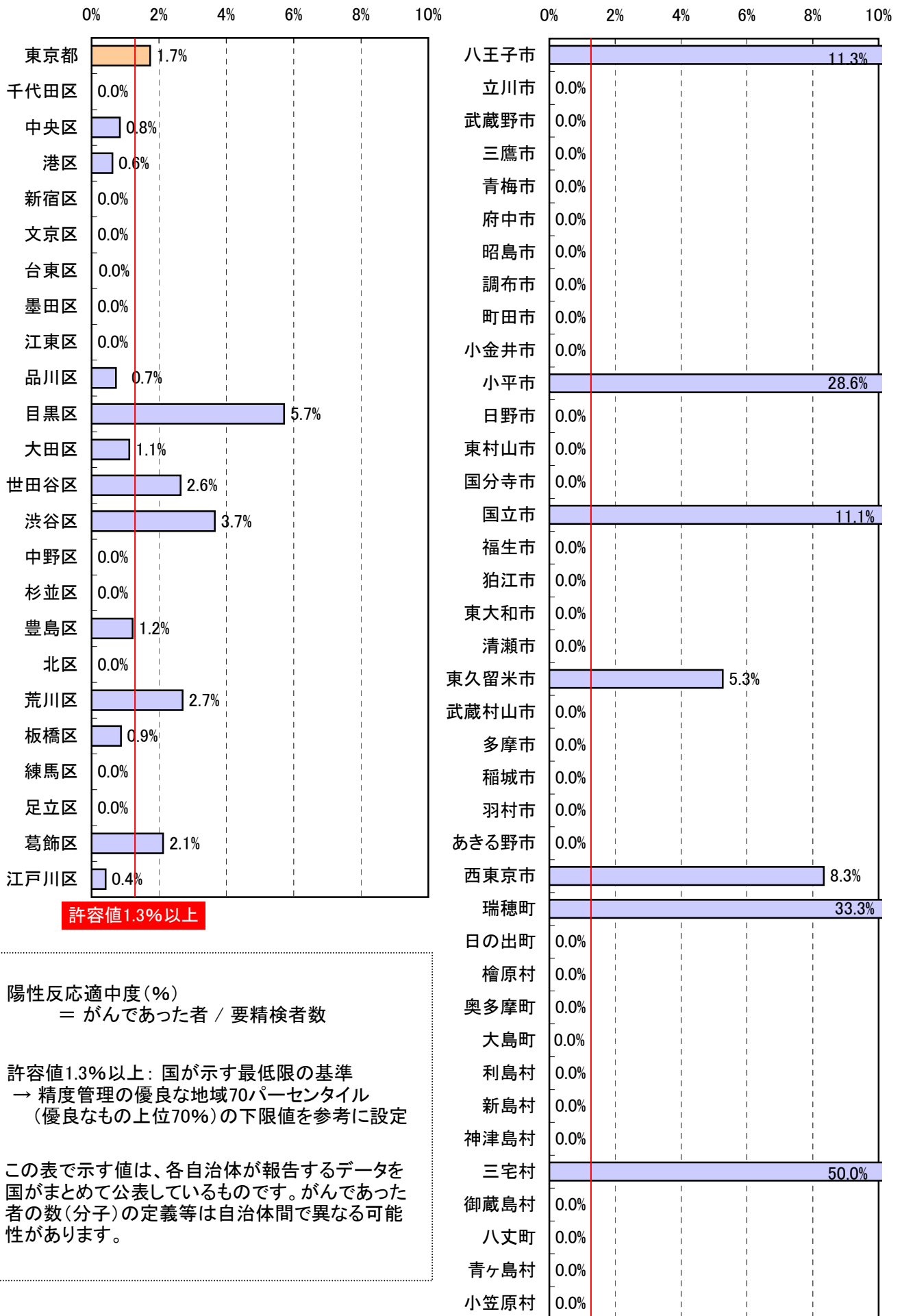
許容値1.3%以上

陽性反応適中度(%)  
= がんであった者 / 要精検者数

許容値1.3%以上: 国が示す最低限の基準  
→ 精度管理の優良な地域70パーセント  
(優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

この表で示す値は、各自治体が報告するデータを国がまとめて公表しているものです。がんであった者の数(分子)の定義等は自治体間で異なる可能性があります。

肺がん検診 陽性反応適中度(平成22年度, 女性)



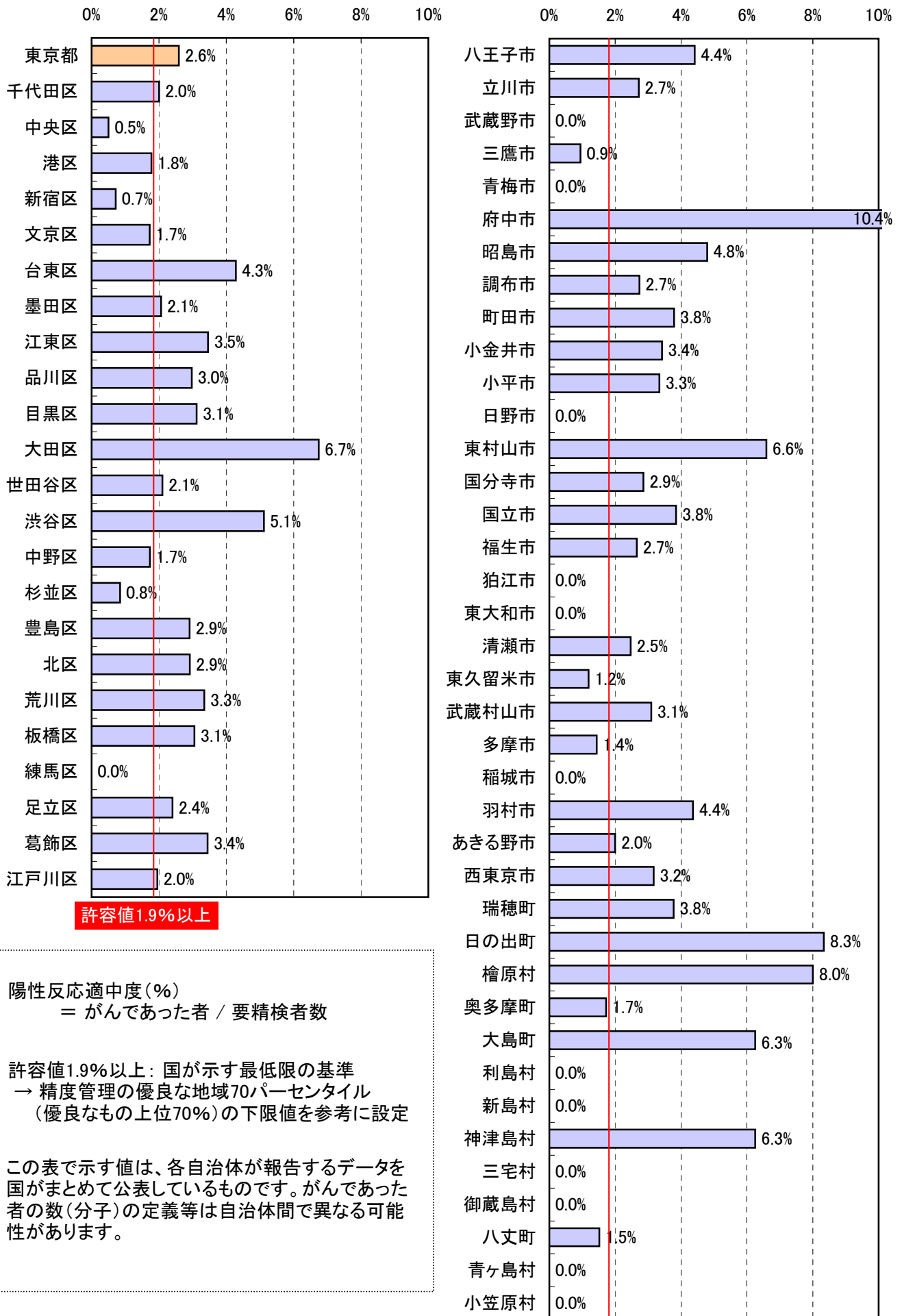
許容値1.3%以上

陽性反応適中度(%)  
 = がんであった者 / 要精検者数

許容値1.3%以上: 国が示す最低限の基準  
 → 精度管理の優良な地域70パーセント  
 (優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

この表で示す値は、各自治体が報告するデータを  
 国がまとめて公表しているものです。がんであった  
 者の数(分子)の定義等は自治体間で異なる可能  
 性があります。

# 大腸がん検診 陽性反応適中度(平成22年度, 男女計)



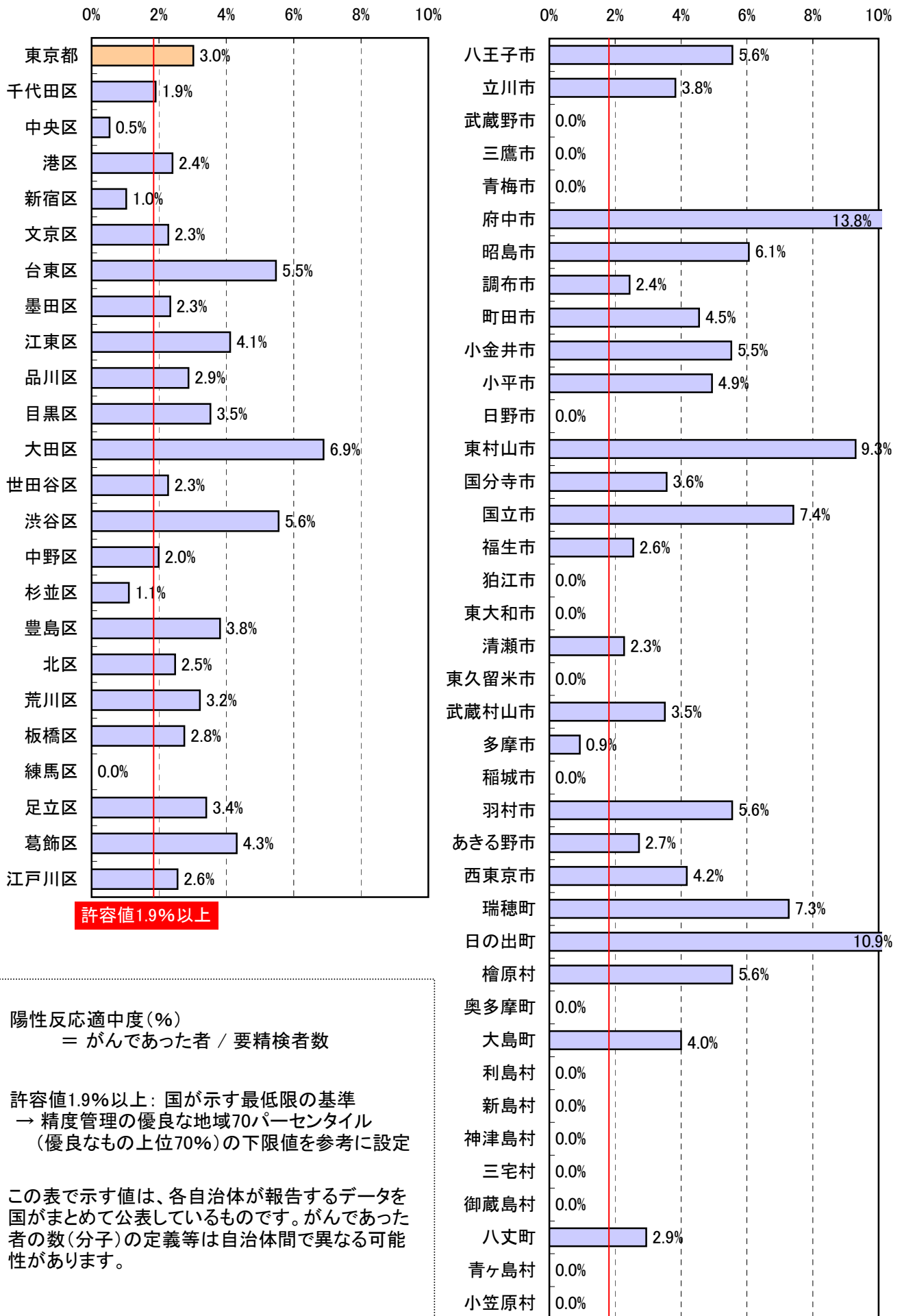
許容値1.9%以上

陽性反応適中度(%)  
 = がんであった者 / 要精検者数

許容値1.9%以上: 国が示す最低限の基準  
 → 精度管理の優良な地域70パーセンタイル  
 (優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

この表で示す値は、各自治体が報告するデータを国がまとめて公表しているものです。がんであった者の数(分子)の定義等は自治体間で異なる可能性があります。

# 大腸がん検診 陽性反応適中度(平成22年度, 男性)



許容値1.9%以上

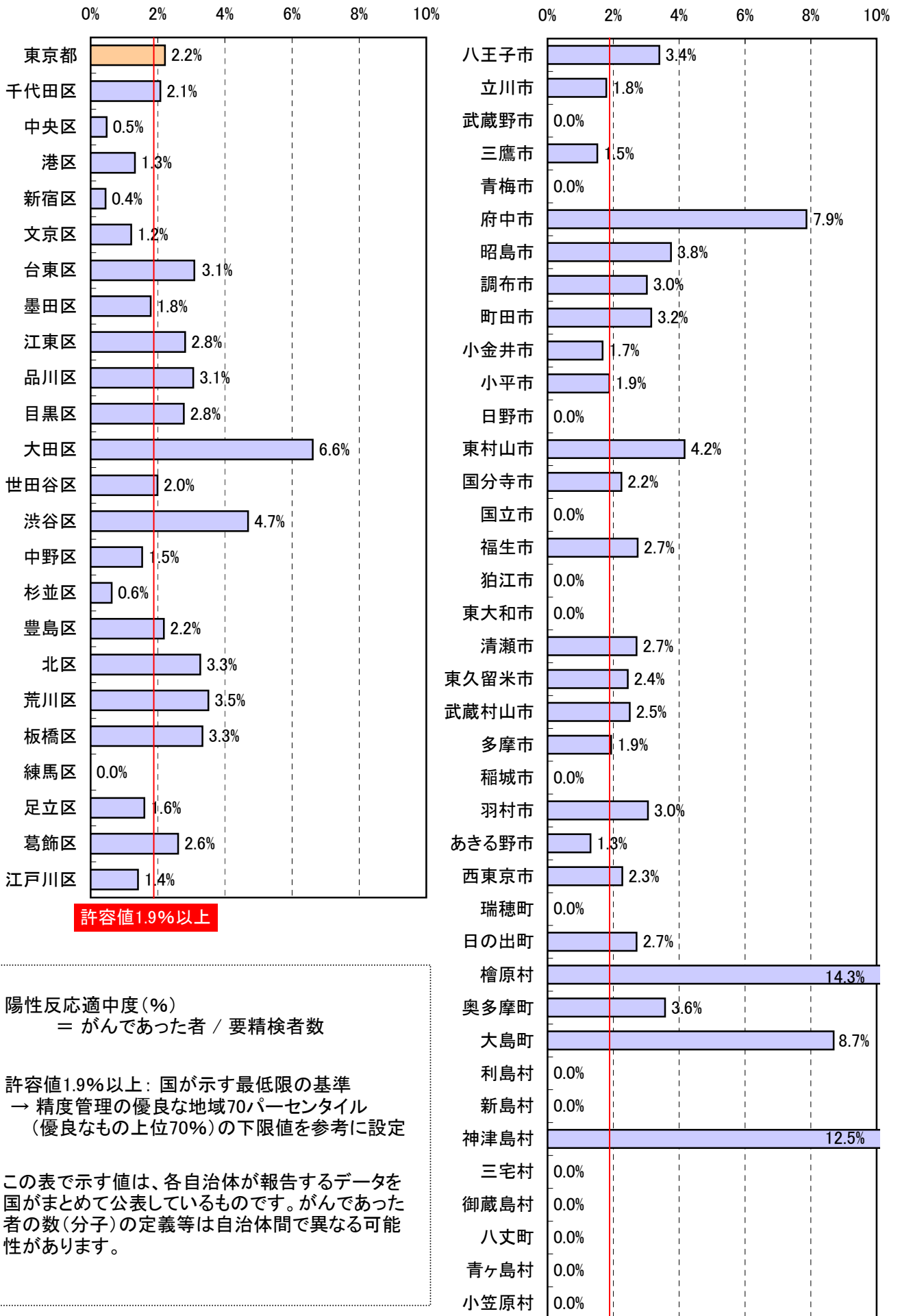
陽性反応適中度(%)  
 = がんであった者 / 要精検者数

許容値1.9%以上: 国が示す最低限の基準  
 → 精度管理の優良な地域70パーセント  
 (優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

この表で示す値は、各自治体が報告するデータを国がまとめて公表しているものです。がんであった者の数(分子)の定義等は自治体間で異なる可能性があります。



# 大腸がん検診 陽性反応適中度(平成22年度, 女性)



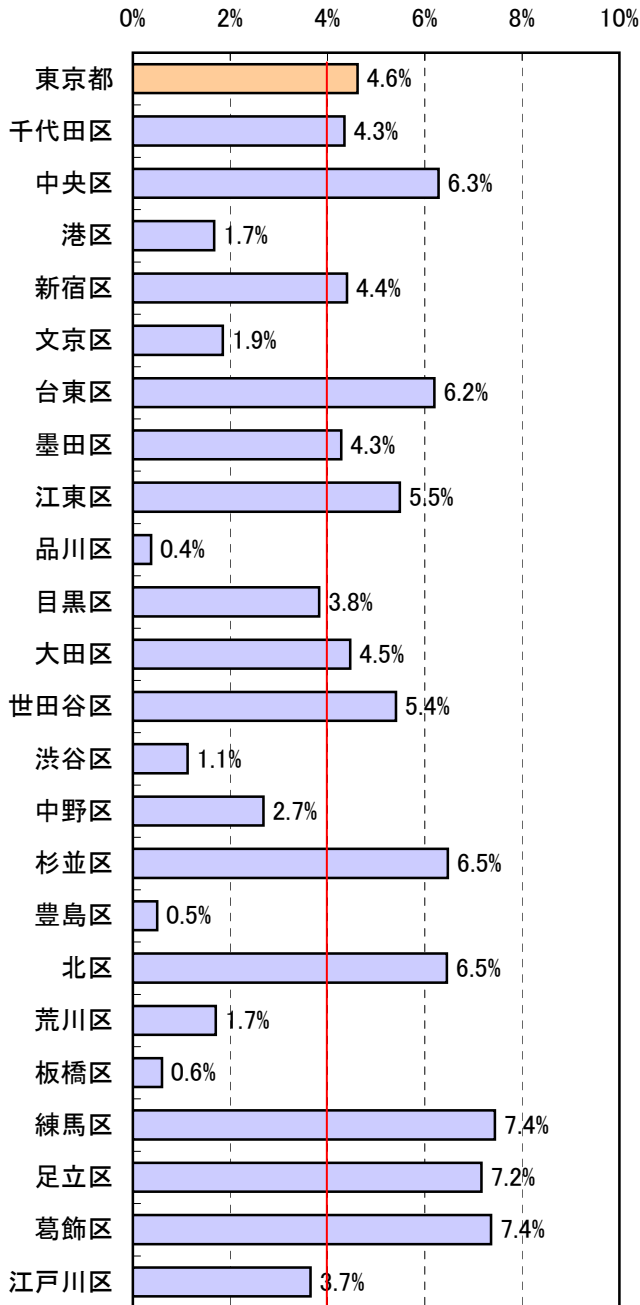
許容値1.9%以上

陽性反応適中度(%)  
 = がんであった者 / 要精検者数

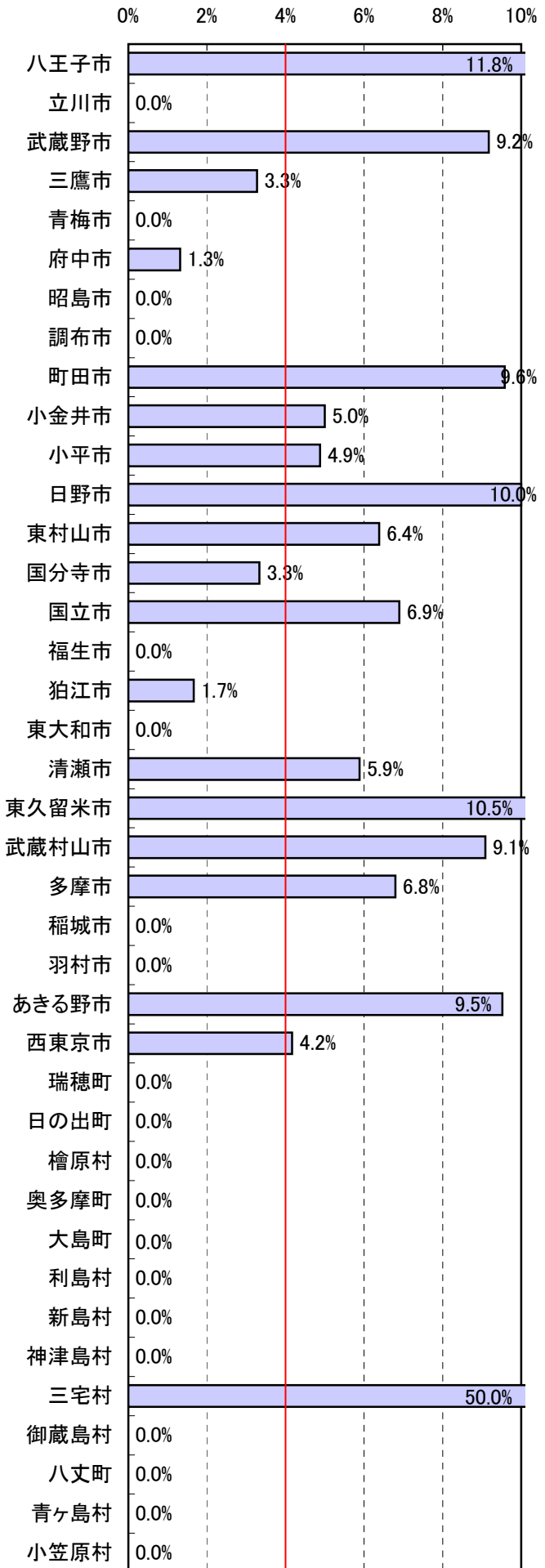
許容値1.9%以上: 国が示す最低限の基準  
 → 精度管理の優良な地域70パーセント  
 (優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

この表で示す値は、各自治体が報告するデータを国がまとめて公表しているものです。がんであった者の数(分子)の定義等は自治体間で異なる可能性があります。

# 子宮がん検診 陽性反応適中度(平成22年度)



許容値4.0%以上

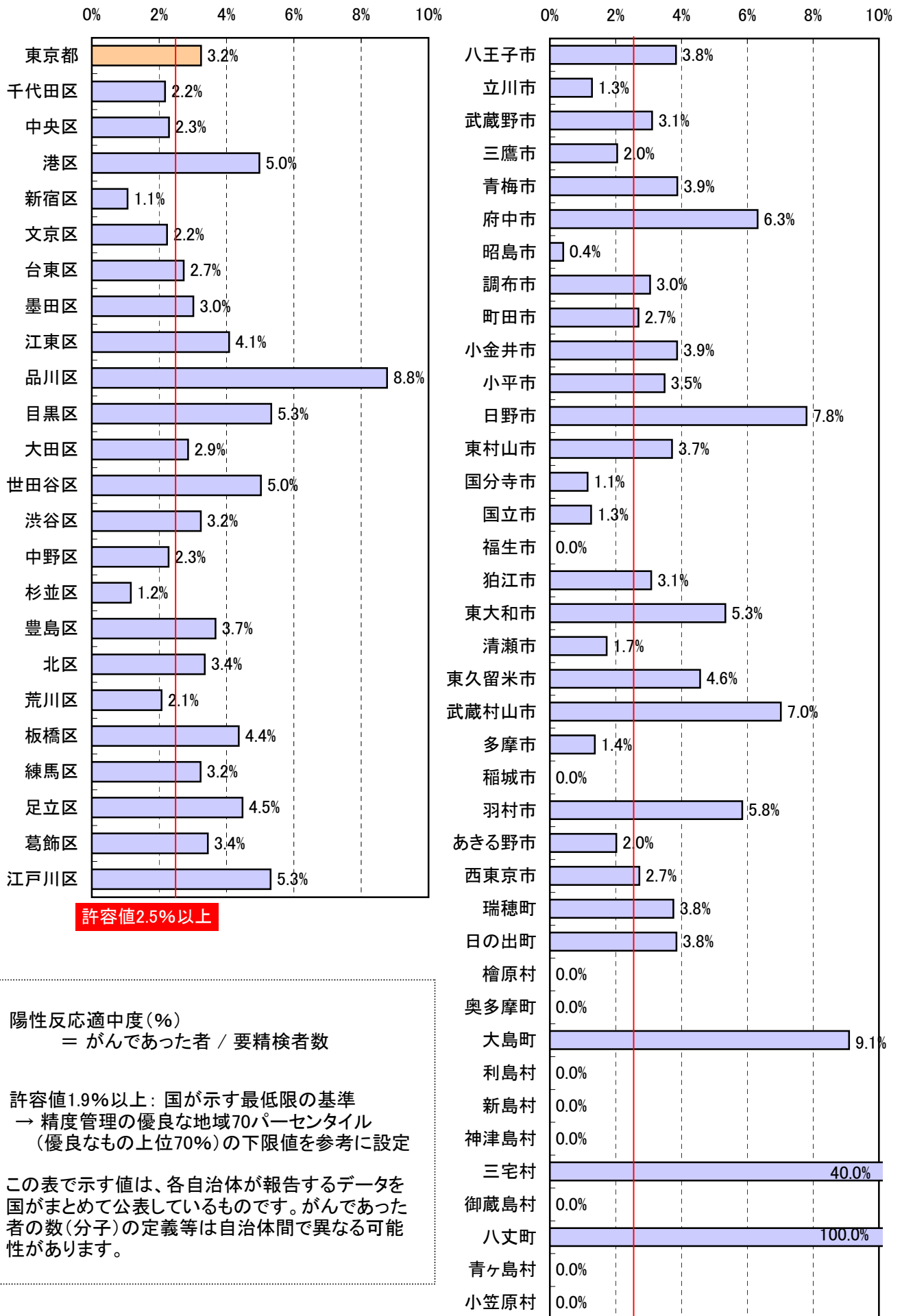


陽性反応適中度(%)  
= がんであった者 / 要精検者数

許容値4.0%以上: 国が示す最低限の基準  
→ 精度管理の優良な地域70パーセント  
(優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

この表で示す値は、各自治体が報告するデータを国がまとめて公表しているものです。がんであった者の数(分子)の定義等は自治体間で異なる可能性があります。

# 乳がん検診 陽性反応適中度(平成22年度)



許容値2.5%以上

陽性反応適中度(%)  
 = がんであった者 / 要精検者数

許容値1.9%以上: 国が示す最低限の基準  
 → 精度管理の優良な地域70パーセント  
 (優良なもの上位70%)の下限値を参考に設定

この表で示す値は、各自治体が報告するデータを国がまとめて公表しているものです。がんであった者の数(分子)の定義等は自治体間で異なる可能性があります。